

# 中学2年

## 合格に到る道のりの長短は、中2で分かります

学校生活に慣れてくる中2。この「慣れ」に要注意だと私たち西荻塾は考えます。慣れは勢い日常生活、とりわけ勉強面での緩みを生むものです。また、部活の中心学年となる中2は、勉強以外の時間管理が難しい学年といえます。

西荻塾では、勉強面での気の引き締めを狙った課題や小テストを実施し、限られた時間で効率的学習が可能な生徒を育てます。合格までの最短距離を探る構えです。

## 開講講座のご案内

### 英語(100分/週)

#### 《選抜クラス》

選抜クラスの英語は文法事項を2周します。1周目は基本問題を通じて文法事項のルールを理解してもらいます。1周目の目標は、文章の並び替えや空欄補充問題を解けるようになること、さらには文章の訳を作れるようになることです。2周目は、1周目の理解を元にレベルを上げて私立難関校や国立付属で出題される問題に挑戦していきます。さらには、中学生での学習範囲を超えた内容（高校での学習内容）にも一部触れていきます。ただ、高校入試でのメインターゲットは中学1・2年の文法単元であることは過去問から明らかです。そのため、バランスを意識しながら、中学2年生までの文法理解も充実させていくことと致します。

また2年次からは長文読解にも力を入れていきます。はじめは都立共通入試レベルの文章から読み始めます。長文に慣れ始める冬以降には、私立の中堅高（日大二高など）レベルの長文をすらすらと正確に読めるようになることが目標です。

#### 《都立マスタークラス》

「十分な語彙力」と「早く正確に書く力」を重視します。教科書内容を1年間に2周以上実施します。現在の英語学習では様々な技能の訓練が行われますが、入試を意識した場合は、読みと書きの力が圧倒的に重要です。

マスタークラスでは学校の授業の進路と同じやや早いくらいのペースで進めていきます。各授業の前半では一般的な文法問題集を使い標準レベルの問題をできるようにまで練習していきます。このレベルの問題が考えなくても解答できるようになることが最終目標です。他方、各授業の後半では、入試を意識し、教科書レベルの文章を多く読んでいくようにします。高校入試では少なくとも2題は長文が出題されます。今のうちから長文を読む癖をつけて早く正確に読む力を養っていきます。さらに、こうした読解訓練を通して、教科書レベルの文法や単語・熟語の確認も可能となります。このことは、定期テスト対策としても効果を発揮するでしょう。

このほか、1年次と同じく、授業の冒頭に必ず単語テストと宿題と同範囲の確認テストを行い、知識の定着を図ります。なおこのテストは合格するまで何度でも行います。

### 数学(100分/週)

#### 《選抜クラス》

前学年から引き続いて先取り学習を行います。前学年の続きから入りますので、今年度の終わりまでで大きめに中学数学の全体を終わらせる予定となります（なお、途中入室生にはフォローを実施する予定です。）。

具体的な進め方としては、1周目に各学習分野の代表的な例題を習得し、基本問題を解くにあたって不足のない理解を目指します。そして2周目以降は、全国公立高校入試の過去問題、つまりは悪問を排した良問を素材に、これまでに固めてきた基礎の上に標準レベルの解法パターン習得演習を行います。

さらに、各学習時点でのクラスの学力的状況・理解度・定着度合いを考慮し、標準レベルを超える応用問題・発展問題を取り入れることがあります。実践演習は本来中3でのメインターゲットですが、受験数学の世界を早めに広げておくことは塾生の視野を広げる意味で大変有効です。楽しみながら数学を学ぶ、そうしたことも配慮した授業を展開して参ります。

毎回の授業をおろそかにせず、常に解法パターンの確実な消化に努めてもらうべく、今年度終了時までには都立自校作校の数学70点の確保を進級の条件に加えるかもしれません。それくらいのプレッシャーを感じながら学習に励んでもらいたいという意図です。

#### 《都立マスタークラス》

まずは、①基礎の理解および暗記事項の確実な暗記をすること、それとともに、②覚えたルールを正確に速く使いこなすトレーニングを徹底的に実施します。

大まかなカリキュラムとしては、「例年の定期テスト範囲を当該試験期までに周回する」というものを以下のように想定しています。

1学期期末	2学期中間	2学期期末	学年末
式の計算 連立方程式 (計算まで)	既習単元含む 連立方程式 (全部) 1次関数 (交点まで)	既習単元含む 1次関数 (全部) 図形の証明 (二等辺まで)	既習単元含む 図形の証明 (全部) 確率

たとえば1学期期末までは、式の計算や連立方程式の計算部分を徹底的に反復することとなります。基礎を徹底する1周目の後に展開される③周回学習の中で応用力の養成に入ります。既習の単元をテーマとした入試問題や、複数の単元にまたがる総合問題、また教科書内容にとどまらない高いレベルの内容を扱い、入試突破に求められる力を養います。

各授業回では、塾生には小テストの合格を徹底させます。翌授業回で前回内容の理解を確認するものが小テストです。これができなければ、1週間を無駄に過ごしたと同じです。それでは志望校には絶対に受かりません。小テストには、必ず毎回合格していただきます。

### 国語(45分/週)

中学の国語は、文章を正しく読めるようになること、論理的・文法的に破綻のない文章を書けるようになることを重視しています。

実際の授業では、問題の解答を導くために根拠がどこに書いてあったのか、文章全体を通じて筆者の主張は何であったのか、といったことを生徒それぞれが考えられるように指導していきます。また、毎回の授業で100字から200字程度の作文を書いてもらいます。身近なテーマから時事問題まで様々なテーマの作文を書くことによって、自分の興味と知識の幅を増やすことができます。これらの取り組みを通し、高校入試で出題される説明文や都立入試で問われる200字作文に対応できる力を養っていきます。

したがって、西荻塾の国語の授業は、文章を正確に読むことができるようになること、また様々なテーマについての主張を含めた文章が書けることを目的とした指導を行います。このほか、国文法や漢字などは理解・暗記が主軸となりますので、小テストを実施し、定着を図ります。

### 社会・理科(各45分/週)

各単元の骨組みとなる知識を重点的に扱います。細かい部分を理解するための基礎学力の獲得を目的としています。1年間で中1・2範囲を学習します。また、資料などの読み取りを要する問題にも取り組み、都立入試で求められる「身に付けた知識を引き出しつつ読み取る力」を養います。

#### 授業時間割(例)

教科	曜日・時間
英語	月曜日 19:40~21:20
数学	金曜日 19:40~21:20
国語・社会・理科	土曜日 19:00~21:40 (各45分)

## ● 西荻塾の特長

### ●ひとりひとりに迫る指導の一つの形

西荻塾は「ひとりひとりに迫る指導」を実践したいと考えています。授業は問答を通じた双方向授業が基本。その場で生徒の表情やノートなどを随時見ながら、説明の濃淡を調整したり、課題を追加したりと工夫を加えています。

また、どうしても授業や小テストだけでは掬いきれない生徒がいるものです。私たちは、授業に加え授業外でも積極的に生徒指導を行いながら、全ての生徒に綿密な指導を行います。

この「授業」と「授業外指導」の二本柱によって、生徒ひとりひとりに迫るのが西荻塾の指導です。

### ●西荻塾の誇る授業外指導の手厚さ

西荻塾は、各生徒に対して入念にコミュニケーションを取り、信頼関係をきちんと築いていくことが学習指導上の要諦と考えます。そうしたやりとりの中で、小テストの結果や授業内での様子を踏まえ、各生徒の授業の理解度や定着度を把握していきます。

こうした過程で、理解の程度に問題がある生徒が発見される場合には、理解度の欠落の程度が軽い順に、以下のようなオプションを提示して対応しています。①居残り再テスト②居残り補講③非授業日の来室および自習ないし補講等をこちらから声がけ・提案させていただきます。

### ●授業外指導の一例

#### 【全学年共通】

#### ・自習室対応

自習室での質問対応は随時受け付けております。

#### ・定期テスト対策講座

定期テスト1ヶ月前から開講し、テスト範囲での苦手分野の授業や質問対応を行っています。

#### ・個別面談・進路指導

塾生および保護者の個別面談・進路相談は随時行っております。

#### 【中3生対象】

#### ・入試問題添削

都立の作文や各自志望校の入試問題の質問および添削も随時行っております。

#### ・都立リハーサル

志望校判定のため過去問を使い、そこから当塾オリジナルの合格判定を用いて一般の模擬試験よりも正確な進路指導をいたします。

※毎年こちらで指定した年度の都立の過去問を解かないように案内しています。合格判定の確実性・信頼性を担保するため、塾生には初見の過去問を解いてもらっています。また、この結果を材料とした最終的な志望校決定のための二者ないし三者面談を実施しています。

## 【中学部】選抜クラスを設置

### ■都立上位高校、国立高校を目指す

生徒の(1)やる気、(2)学力の2点を考慮し選抜します。都立西、日比谷、国立などの入試問題自校作成校や、筑波大附属、学芸大学附属などを志望する生徒のためのクラスです。

### ■途中から選抜クラスに加入も可能

選抜クラスは、一度加入したらメンバー固定、というかたちを取りません。入塾時には十分な力とは言えなかった塾生が、着実に力をつけて上位に食い込むことは十分考えられます。その場合は、やる気と学力を確認した上で、選抜クラスに途中加入できます。このように常に年度途中でのメンバーの入れ替わりがあり得ます。

この際、都立マスタークラス（通称「マスター」）は選抜クラスと多少の進度的な違いがありえますので、授業外でのフォローを実施します。

逆に、選抜クラス少し苦しくなった場合は、マスターで一度基本を磨き直すといった対応も考えられます。生徒のおいてきぼりがいい西荻塾の選抜クラスです。

## ● 受講料のご案内

### 【入会金】

21,600円（税込） / 入会時のみ

※内部生紹介の場合は入会金10,800円を減額致します。

### 【授業の費用】

(1) 受講料（月額/3～7、9～2月の各月に必要です。）

#### ■クラス授業

学年	受講講座	費用（税込）
中1・2	英語・数学	17,280円
	社会・理科・国語	各4,320円 ※3科セット10,800円
中3	マスタークラス5教科 選抜クラス5教科	36,180円 42,660円
	社会・理科特急講座	9,720円
	数学・英語入試演習講座	12,960円

※英語については学力の状況によって特別クラスを設置する場合がございます。その場合は、受講料は月額12,960円となります。

※社会・理科特急講座は4ヶ月で終了の短期講座です。

※数学・英語入試演習講座は5ヶ月間で終了の短期講座です。

#### ■個別授業

生徒各自のご要望に合わせた個別授業も開設しています。志望校対策や弱点の補強などにご利用いただいています。クラス授業併用割引もあります。

受講人数	授業時間/回	費用（税込）
1名（個別授業のみ）	90分×4回	28,080円
1名（クラス併用）	90分×4回	22,680円

### (2) 教材費（年間） / 入会時または3月

学年	受講講座	費用（税込）
中1・2	数学・英語	各6,480円
	国語・社会・理科	各5,400円
中3	国語・数学・英語	各10,800円
	社会・理科	各8,640円
	社会・理科特別講座	不要
	英数入試演習講座	不要

### (3) 指導充実費（年間） / 入会時、3月・9月

学年	費用（税込）
中1	前期 6,480円 / 後期 6,480円
中2	前期 6,480円 / 後期 10,800円
中3	前期 16,200円 / 後期 21,000円

### 【外部模試】

●中1・2は4・7・12月に行われる選抜試験や定着度の判定を見るために受験します。

受験1回あたりの費用は2,160円です。

●中3生は志望校判定のために受験します。

受験一回あたりの費用は、共通問題型が4,000円、自校作問題型が5,300円です。都度ご案内致しますパンフレットをご参照下さい。